

仙台市の財政状況

令和2年10月



経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

目次



経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

仙台市の概要

仙台市の概要	1
新型コロナウイルス感染症に係る仙台市の対応	4
仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン	5
新型コロナウイルス感染症対応に伴う予算編成の状況	6
トピックス「せんだい都心再構築プロジェクト」	7
市政運営の方針	8
復旧・復興事業の概算事業費	9

予・決算の状況

令和2年度当初予算の施策体系	10
一般会計当初予算の推移	11
一般会計歳入決算の推移	12
一般会計歳出決算(性質別)の推移	13
実質収支の状況(普通会計決算)	14
プライマリーバランスの状況(普通会計決算)	15
令和元年度特別会計決算の概要	16
令和元年度企業会計決算の概要	17

財政指標

健全化判断比率・資金不足比率	18
財政力指数・経常収支比率等	19
市債発行の状況(一般会計+特別会計)	20
普通会計市債残高の推移	21
市民一人当たり市債残高(普通会計)	22
一般会計公債費の推移	23
各種基金の状況	24
主な基金残高の推移	25
基金残高の他都市比較(普通会計)	26

行財政改革・財政見通し等

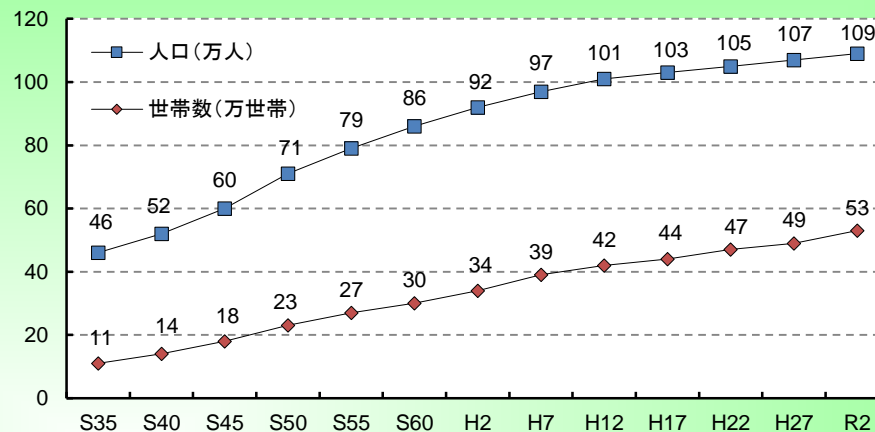
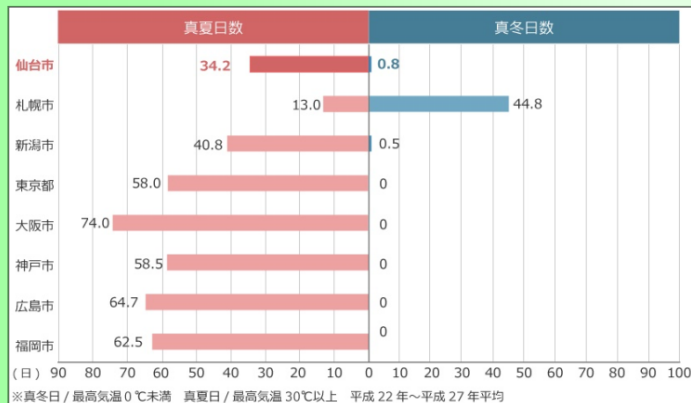
仙台市役所経営プラン	27
外郭団体の状況	28
仙台市公共施設総合マネジメントプラン	29
今後の財政見通し(普通会計ベース)	30
令和2年度市場公募地方債発行計画	31

本資料は、仙台市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、仙台市の財政状況について説明することを目的とするものです。

仙台市の概要①

仙台市は、1600年に伊達政宗公が居城を定めて以来、雄藩の城下町として栄え、平成元(1989)年に東北で初めての政令指定都市となりました。「杜の都」と呼ばれる豊かな自然環境、「学都」としての高度な研究開発機能を有し、東北の政治・経済・学術・文化の中核都市として発展してきました。

- 人口 約109万人(令和2年9月1日現在推計人口)
- 世帯数 約5万世帯
- 面積 786.30km²
- 気候 太平洋に面した海洋性気候
寒暖の差が少ない



- アクセス 東京から新幹線で約1時間半
国内10都市、海外4都市と空路で結節
- 経済 市内総生産(名目): 約5兆3,880億円(平成29年度市民経済計算)
年間商品販売額: 約9兆1,240億円(平成28年経済センサス活動調査)
- 年間観光客数 約2,181万人(令和元年)



(春) 仙台・青葉まつり



(夏) 仙台七夕まつり



(秋) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル

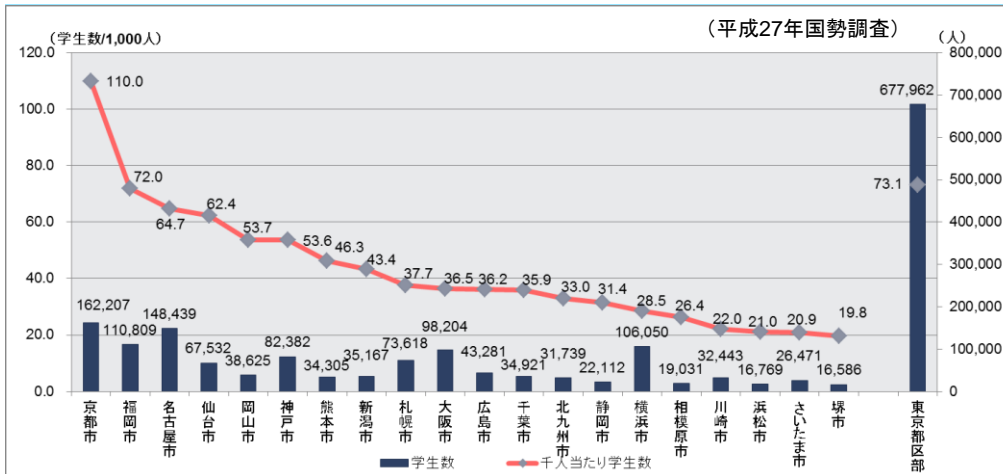


(冬) SENDAI光のページェント

仙台市の概要②



仙台市の概要③

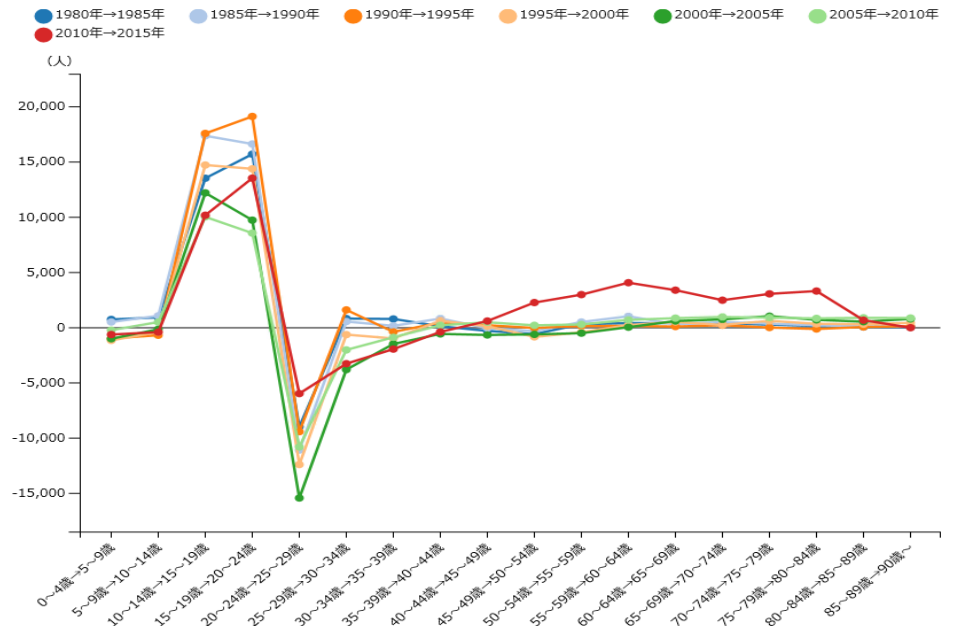


「学都」に集う学生

- 全国的にも仙台には多数の学生が集まる
- 人口千人あたりの学生数は、政令指定都市の中でも4番目の多さ

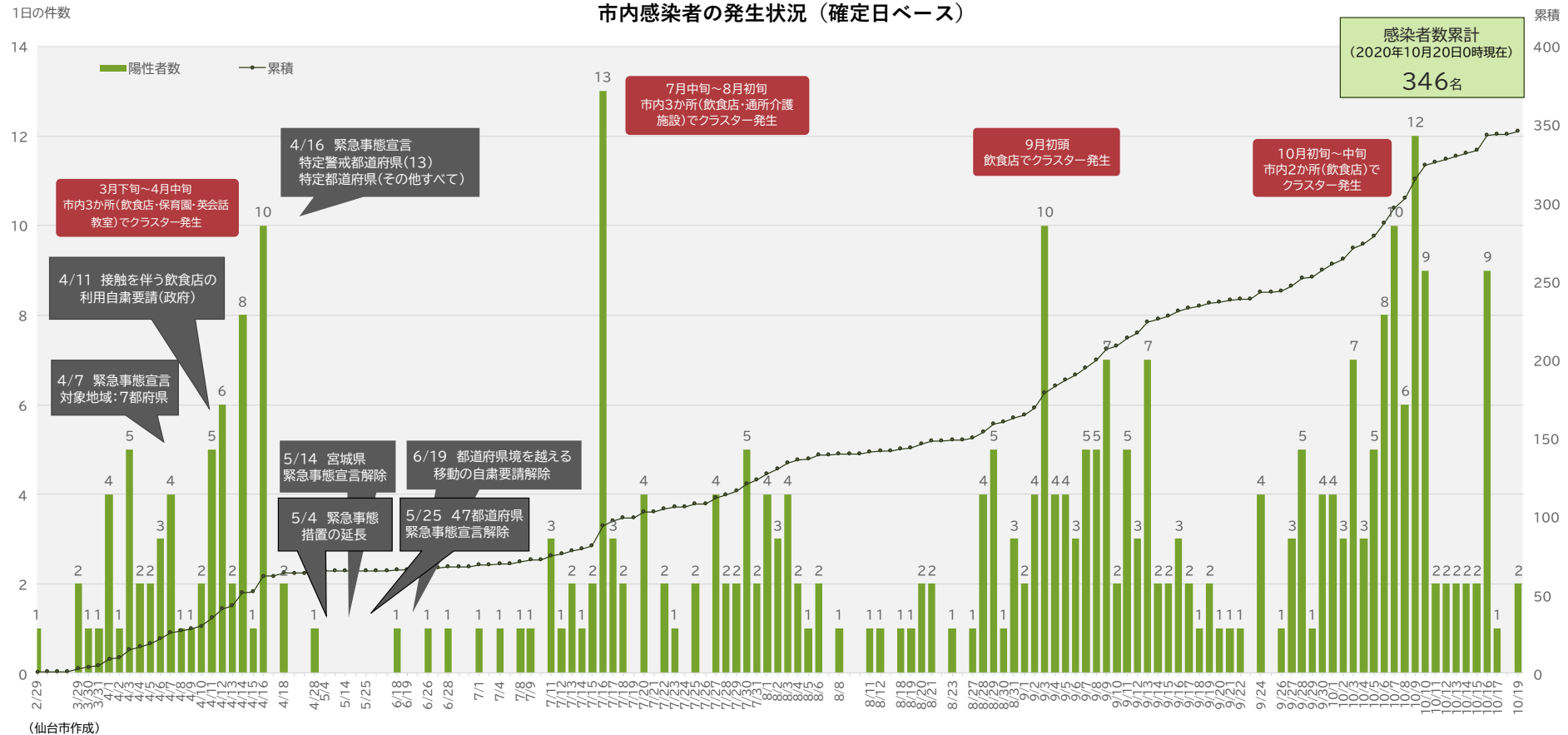
若年人口の動向

- 高等教育機関や専門学校が多いこと等を背景として、10代後半の転入が非常に多い
- 一方で、20代半ばから後半については転出が多い(特に東京圏への転出が顕著)



新型コロナウイルス感染症に係る仙台市の対応

市内感染者の発生状況（確定日ベース）



- この間、感染者の増加に対応するため、市衛生研究所の検査能力を強化するとともに、保健所の積極的疫学調査やドライブスルー方式でのPCR検査検体採取等により、迅速な感染者の特定や医療の提供に努めてきた。
- また、今後のさらなる感染拡大や季節性インフルエンザとの同時流行に備え、市医師会、市内医療機関等と連携し、発熱症状のある疑似症患者への医療提供体制の整備等に取り組んでいる。

仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン



経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

○ 背景

- ・世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの脅威から一日も早く市民の日常の暮らしを取り戻し、経済活動を再開・活性化していく必要性
- ・変容する社会の流れを的確に捉え、未来のまちづくりの準備をする必要性



新型コロナウイルス感染症対策の基本的な方針や各種取り組みをまとめた「仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン」を策定(R2.6)

○ 対策の進め方

- ・年内にも感染拡大の大きな波が到来するという想定の下、令和2年度内に2つのフェーズを設定
- ・段階に応じて対策を進め、感染症に強いまちづくりにつなげる。

○ 対策の方向性

- ◆ 社会経済活動の本格的な再開に向けて「新しい生活様式」の定着を図りながら、地域経済の再生・活性化の取り組みを進め、感染拡大防止と社会経済活動を両立
- ◆ 新たな感染拡大を見据えた感染症対策人の移動の回復などによる感染拡大を想定し、関係機関等との連携のもと、市民の安全・安心を確保
- ◆ まちの活力の創出と新しい未来に向けて今回の教訓を新しい時代をつくるターニングポイントと捉え、仙台市の魅力向上、新しい未来につながる取り組みを推進

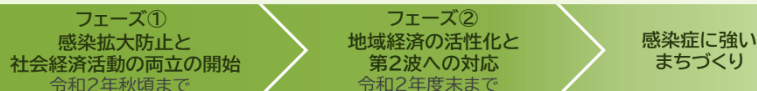
▼ 3つの基本方針

1 市民の「命」を守る、第2波を見据えた医療提供体制の構築へ

2 日常の「暮らし」を取り戻し、新たな生活スタイルへ

3 仙台の「経済」を支え、まちの新しい未来へ

対策の推進



- ①感染拡大防止
 - ・避難所の感染症対策の推進 等
- ②医療提供体制強化
 - ・重症者及び中等症者の病床確保
 - ・発熱患者への医療の確保
 - ・検査体制の強化
 - ・保健所の体制強化 等
- ①市民生活支援
 - ・各種支援制度に関する情報発信の強化 等
- ②教育・子育て支援
 - ・学びの確保
 - ・学びのICT活用推進
 - ・子どもの保育環境・居場所づくり
 - ・児童生徒の心のケア 等
- ①地域経済の再生・活性化
 - ・事業継続支援
 - ・商店街活性化支援
 - ・宿泊需要の喚起 等
- ②まちの活力創出
 - ・観光需要の喚起 等
- ①関係機関との連携
- ②庁内体制

- 3つの基本方針の下、組織横断的な連携により市役所が一丸となって各施策を適時的確に推進
- 様々な関係団体と連携・協働を深めながら対策を推進
- 令和2年1月末から6月までの本市の対応を検証し、「仙台市新型コロナウイルス感染症対応検証結果報告書」をとりまとめ(R2.8)
- 検証結果をプランに掲げる施策の今後の展開やさらなる感染拡大への備えにつなげる。

◆仙台市新型コロナウイルス感染症緊急対策プラン
<https://www.city.sendai.jp/shomu-shokumu/shise/covid19/plan.html>

◆仙台市新型コロナウイルス感染症対応検証結果報告書
<https://www.city.sendai.jp/kikanri/kurashi/anzen/kanri/sekatsu/kensho/ukekkahoukou.html>

新型コロナウイルス感染症対応に伴う予算編成の状況

総計 約1,513億円

5月補正予算の概要

感染症対応に伴う増額 約1,387億円

- 特別定額給付金の支給:約1,075億円(事務費含む)
- 市内事業者への金融支援:約185億円
- 地域産業協力金等の支給:69億円
(地域産業協力金:61.5億円、地域産業支援金:6億円、事務費:1.5億円)
- 教育情報ネットワーク運営等:約29億円
- 子育て世帯臨時特別給付金の支給:約13億円
- 感染症対策:約6億円

6月補正予算の概要

感染症対応に伴う増額 約47億円

- ひとり親世帯臨時特別給付金の支給:約11億円
- 地域消費喚起のための割増商品券の発行:約10億円
- 地域産業支援金の支給:約5億円
- 生活困窮者への住宅確保給付金の支給:約4億円
- 私立保育所等における衛生管理体制確保支援:約3億円
- 地域産業応援金の支給:約2億円

7月補正予算の概要

感染症対応に伴う増額 約30億円

- 児童福祉施設等職員への慰労金の支給:約7億円
- 新生児臨時特別給付金の支給:約4億円
- 市民文化事業団への補助金:約3億円
- 観光客誘致宣伝等の実施:約2億円
- 地域産業応援金の支給:約2億円
- 指定避難所備蓄物資等の整備:約2億円

9月補正予算の概要

感染症対応に伴う増額 約49億円

- 教育情報ネットワーク運営等:約11億円
- 感染症防止対策奨励金の支給:約8億円
- 感染症発生動向調査:約6億円
- 生活困窮者への住宅確保給付金の支給:約5億円
- 休日夜間診療所運営管理:約4億円
- 災害時医療対策:約3億円

トピックス「せんだい都心再構築プロジェクト」

働く場所、楽しむ場所として選ばれる、杜の都の個性きらめく、躍動の都心 まち

仙台の都心

“メガリノベーション”

進行中

仙台市では、老朽化が進む都心部ビルの建替えや企業ニーズの高い高機能オフィスの増床などを通じて、多くの人が集い、交流する、イノベーションが起こりやすいビジネス環境の形成や魅力的な都心づくりの実現に向けて、“せんだい都心再構築プロジェクト”を進めています。

コロナ禍で地方への流れが進むと言われている中、緑豊かな自然と都市機能が調和した仙台は今、首都圏からの移転先や投資先として大きな注目を集めています。

実現に向けた本市の取り組み

第1弾施策（2019年7月公表）

- A 「仙台市都心部建替え促進助成金」の創設
+ 企業誘致体制の強化と助成制度の拡充
- B 「高機能オフィスの整備」に着目した容積率の緩和
- C 「仙台市市街地再開発事業補助金制度」の拡充
- D 駐車場附置義務条例の改正
+ 大店立地法における必要駐車台数の見直し

第2弾施策（2020年10月公表）

- E 「企業立地促進助成制度」の強化
- F 「テナント退去支援助成」の創設
- G 「グリーンビルディングの整備を促進するための方針」の策定
- H 「総合設計制度」の拡充(街区設計型総合設計の導入)

2020年9月 仙台都心地域が「都市再生緊急整備地域(拡大)」、「特定都市再生緊急整備地域(新規)」に指定



市政運営の方針

基本計画

【平成23年度～令和2年度】

【本市が目指すべき都市像の実現を牽引する4つの重点政策】

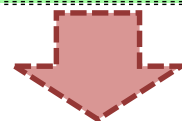
- －学びを多彩な活力につなげる都市づくり
- －地域で支え合う心豊かな社会づくり
- －自然と調和した持続可能な都市づくり
- －人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

【本市が目指すべき都市像の実現に向けた4つの経営方針】

- －未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進
- －地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進
- －地方の時代を先導する市役所への自己変革
- －公共施設の経営改革

震災復興計画

【平成23年度～平成27年度】



政策重点化方針2020

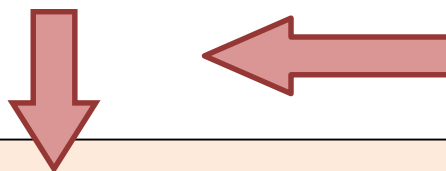
【平成28年度～令和2年度】

3つの政策重点化方針

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 防災と環境を基軸とした未来を創るまちづくり |
| 2 | 社会のイノベーションを生み人口減少に挑むまちづくり |
| 3 | 東西線開業を契機とした都市の楽しさを創造するまちづくり |

実施計画

【令和元年度～令和2年度】



重点的な取り組み

戦略プロジェクト

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 防災環境都市づくり | 5 まちの活力の源泉となる人材の定着・確保推進 |
| 2 東部被災地域の総合的復興 | 6 未来につなぐ子どもを育む環境づくり |
| 3 地域の成長を牽引する企業・産業の創出 | 7 多様な暮らしを支える生活環境づくり |
| 4 まちに賑わいをもたらす新時代の交流促進 | 8 地下鉄沿線を舞台とした活力を創出するまちづくり |

◎令和2年度中に、「挑戦を続ける、新たな杜の都へ」の理念のもと、新たな基本計画(令和3年度～令和12年度)を策定予定

復旧・復興事業の概算事業費

概算事業費 約7,985億円 (令和2年1月現在)

災害救助費関連 約481億円

①避難所運営	9
②住宅応急修理	161
③被災者救出・埋葬	8
④弔慰金・見舞金・貸付金	270
⑤その他	35

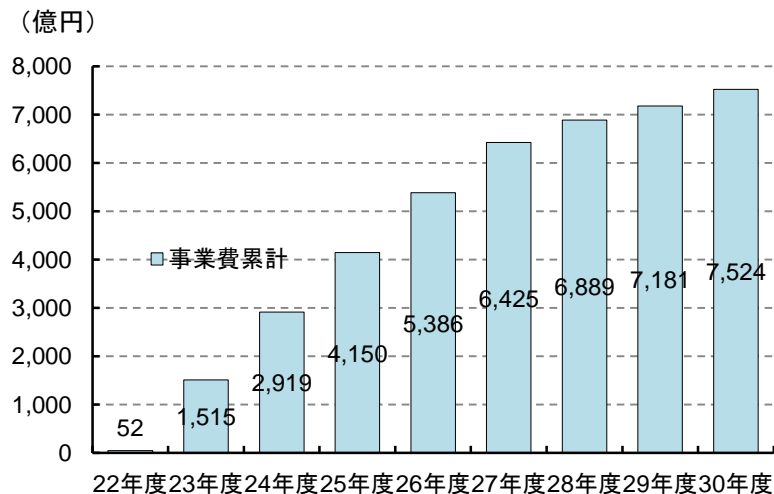
公共施設復旧等 約2,665億円

①ライフライン(上下水道・ガス等)	1,140
②生活衛生関係(ごみ処理施設・斎場等)	16
③都市基盤関係(道路・公園・河川等)	240
④市民利用施設関係(学校・地域施設等)	336
⑤その他公共施設関係(本庁・区役所等)	93
⑥災害廃棄物処理	839

復興・再生事業 約4,839億円

①津波防災・住まい再建プロジェクト	1,908
②市街地宅地再建プロジェクト	294
③生活復興プロジェクト	160
④農と食のフロンティアプロジェクト	95
⑤海辺の交流再生プロジェクト	67
⑥防災・仙台モデル構築プロジェクト	374
⑦省エネ・新エネプロジェクト	23
⑧仙台経済発展プロジェクト	1,435
⑨交流促進プロジェクト	61
⑩震災メモリアルプロジェクト	70
⑪その他	350

復旧・復興事業の進捗状況



※掲載の金額は四捨五入してあるため、内訳と合計額が合わない場合がございます。

令和2年度当初予算の施策体系



経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

柱1 若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦 当初予算:35億円

教育環境の充実

- いじめ・不登校対策の推進 (◎いじめ相談支援窓口新設, ◎「杜のひろば」増設 等)
- 学習環境の充実 (◎読み書きに困難のある児童支援, ◎病気療養児に対する教育 等)
- 学校と地域との連携推進 (◎コミュニティ・スクール推進)
- 学校における働き方改革推進 (◎高等学校校務支援システム, ◎電話自動音声案内)

子育て応援のまちづくり

- 切れ目のない子育て支援 (◎子ども家庭応援センター, ◎子ども医療費助成拡充 等)
- 子どもの安全・安心の確保 (◎一時保護専用施設設置, ◎養育費確保支援 等)
- 待機児童解消に向けた取組み (認可保育所整備等補助, 認定こども園整備費補助 等)
- 地域社会全体で子ども・子育てを応援していく環境づくり (◎情報発信の充実 等)

若い力の育成

- 若者の発想を生かしたまちづくり (◎若者版市民協働事業提案制度 等)
- 若者の地元定着 (◎大学・企業との連携による地方創生推進, ◎高校生向け職業体験)

柱3 自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦 当初予算:21億円

防災・減災まちづくり

- 震災10年を機とした経験と教訓の継承 (◎職員間伝承プログラム構築 等)
- 被災者への継続的な支援 (被災者生活再建支援, 被災者の健康支援)
- 防災・減災の推進 (◎仙台駅西口地区浸水被害軽減対策, ◎国土強靱化計画策定 等)

杜の都の環境づくり

- 地球温暖化対策推進等 (◎温室効果ガス削減アクションプログラム推進 等)
- ごみ減量・リサイクル推進 (◎ワンウェイプラスチック使用抑制, ◎バイオプラスチック普及 等)
- 百年の杜づくり推進 (◎次期緑の基本計画策定, ◎全国都市緑化フェア開催誘致)

柱2 創造と可能性への挑戦 当初予算:29億円

経済成長戦略2023の推進

(◎仙台未来創造企業創出プログラム, ◎次世代放射光施設関連産業振興, ◎スタートアップ・エコシステム拠点都市推進, ◎経済施策の首都圏等への情報発信 等)

都市活力の創出に向けたまちづくり

- 都市計画マスタープラン等策定 (マスタープラン策定調査, 都市交通施策検討)
- 都心再構築プロジェクト (◎市役所本庁舎建替, ◎定禅寺通活性化推進, ◎(仮称)勾当台ビジョン策定, ◎仙台駅西口公共空間あり方検討, ◎都心交通環境再構築 等)

交流人口ビジネス活性化戦略の推進

- 東京オリンピック・パラリンピック (◎スポーツ交流推進, ◎東北ハウス設置 等)
- 交流人口の拡大 (◎体験プログラム創出, ◎東北デスティネーションキャンペーン 等)

柱4 暮らしを守る安全・安心への挑戦 当初予算:46億円

地域で安心して暮らせる支援体制の充実

- 障害者等施策の充実 (◎基幹相談支援センター, ◎中高年ひきこもり者居場所提供 等)
- 高齢者施策の充実 (◎第1層生活支援コーディネーターの配置, ◎介護人材確保 等)
- 保健衛生施策の充実 (◎歩こう動こう脱メタボプロジェクト, ◎人と猫との共生支援 等)
- 中山間地等への支援 (◎先端技術を活用した地域課題解決, ◎地域交通運行確保)

地域活性化の推進

(◎地域コミュニティ体力強化, ◎海辺からの発信, ◎六郷東部地区現地再建まちづくり 等)

市役所経営への挑戦

当初予算:11億円

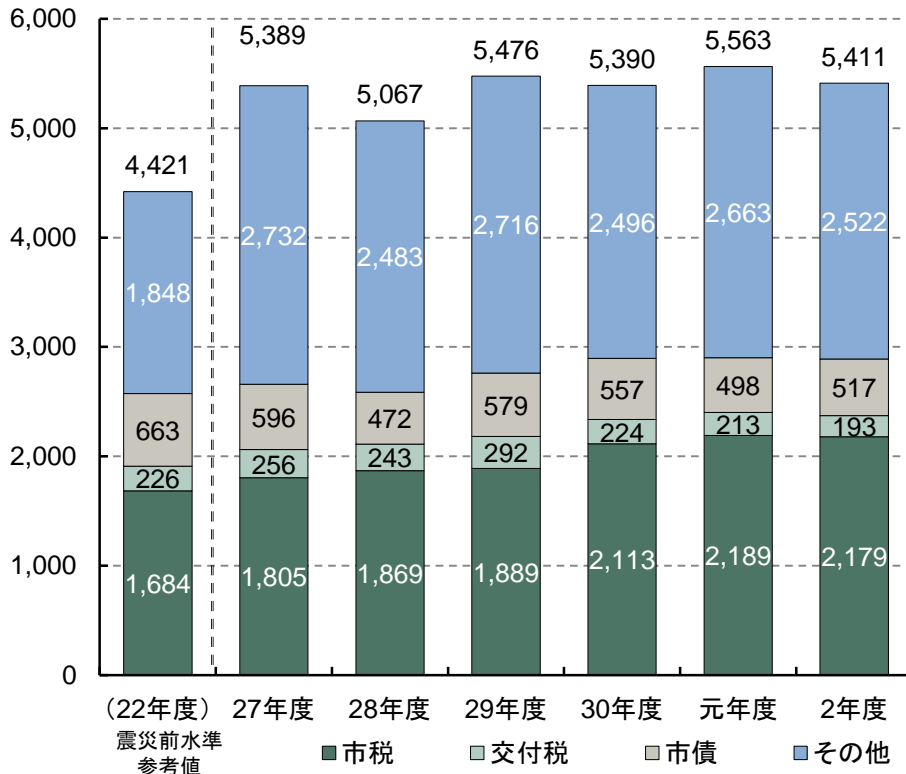
(◎公民連携推進, ◎人材育成基本方針改定, ◎RPA導入, ◎AI等先端技術導入 等)

一般会計当初予算の推移

- ・令和2年度一般会計当初予算の規模は、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券の発行に係る経費の減少等により、**対前年度比△2.7%（約152億円減）**となりました。
- ・市税収入については、税率引下げによる法人市民税の減少等により、**対前年度比△0.5%（約10億円減）**となりました。

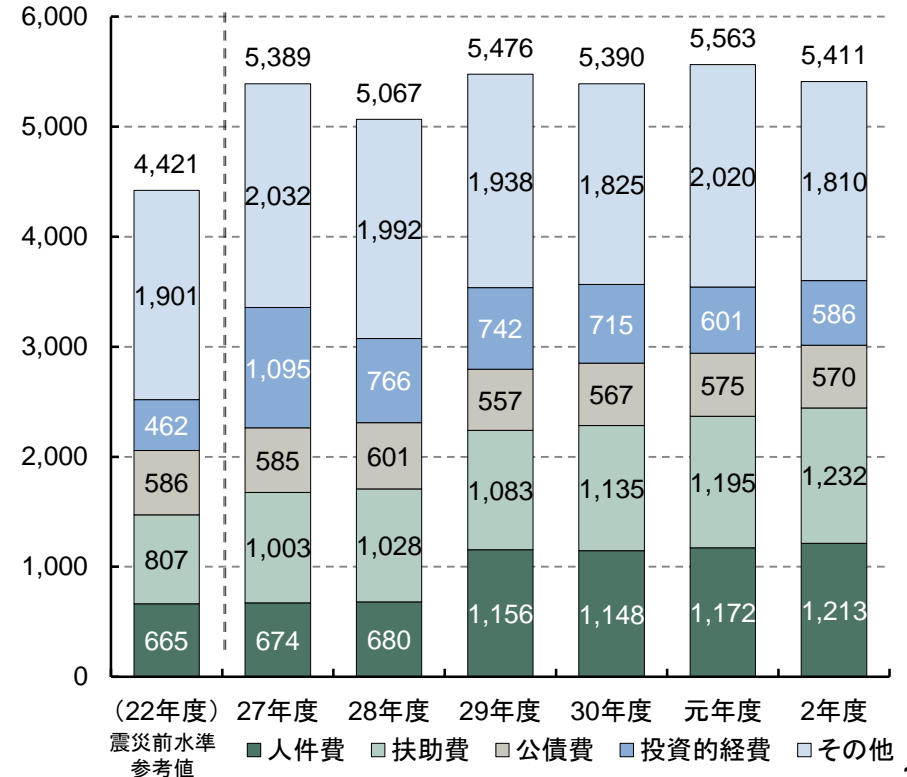
一般会計当初歳入予算

(億円)

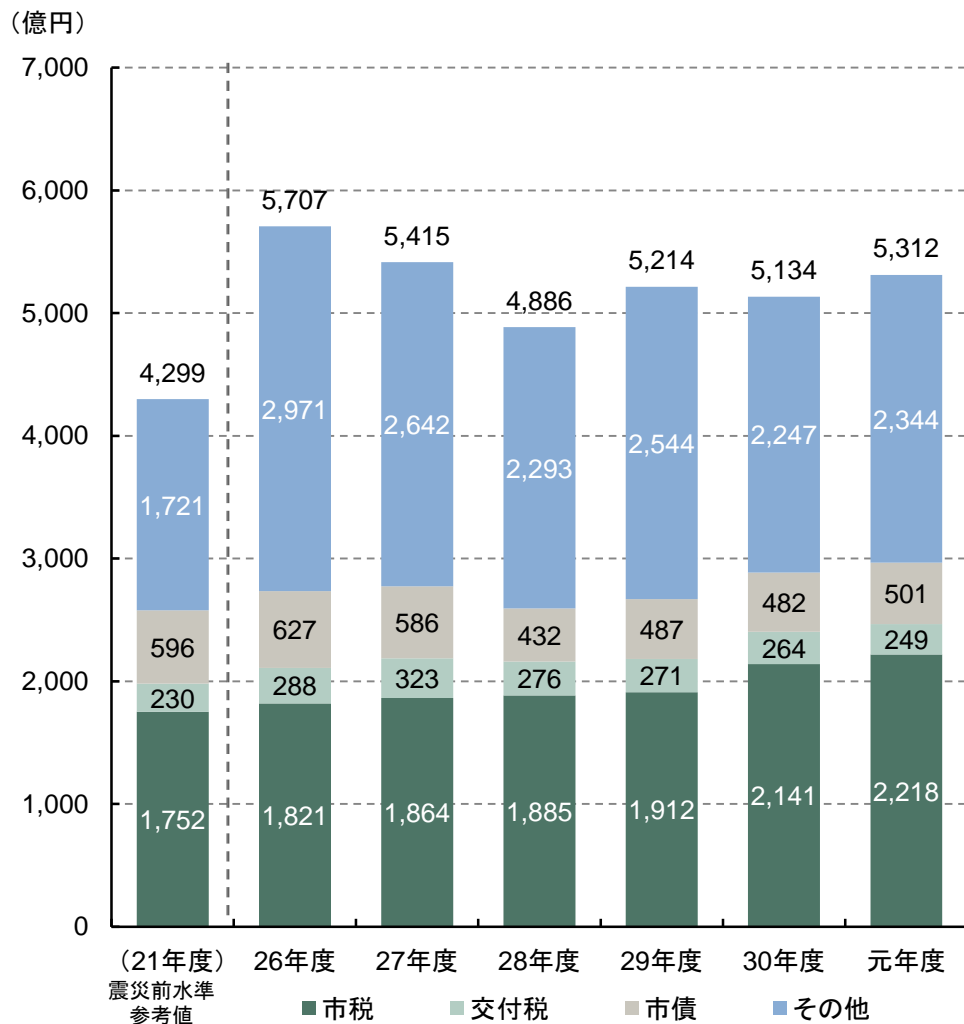


一般会計当初歳出予算(性質別)

(億円)



一般会計歳入決算の推移



【元年度歳入決算の概要】

①市税(構成比41.8%)

県費負担教職員権限移譲に伴う税源移譲等による個人市民税の増加等により、**対前年度比+3.6%(約77億円増)**となり、平成23年度以降、**一貫して増加**しています。

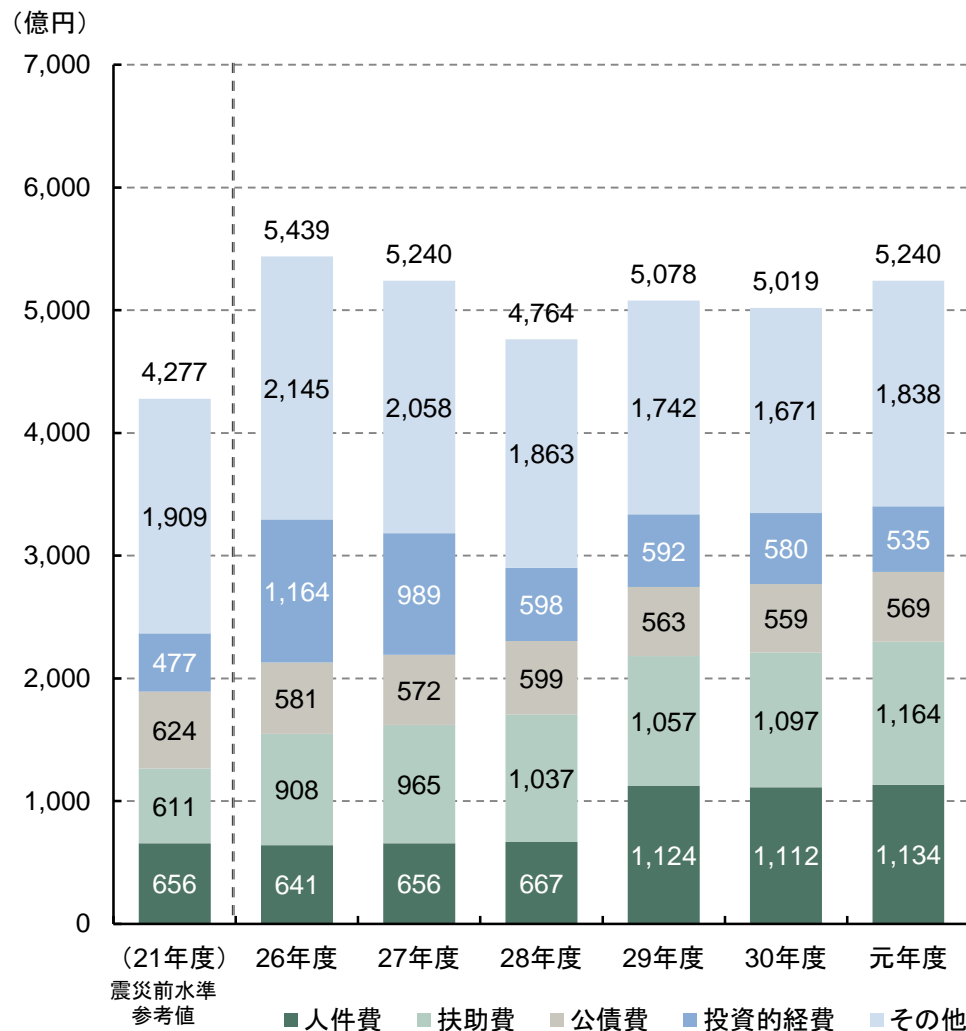
②地方交付税(同4.7%)

震災復興特別交付税の減少により、**対前年度比△5.6%(約15億円減)**となりました。

③市債(同9.4%)

学校建設事業に係る市債の増加等により、**対前年度比+3.9%(約19億円増)**となりました。

一般会計歳出決算(性質別)の推移



【元年度歳出決算の概要】

①義務的経費(構成比54.7%)

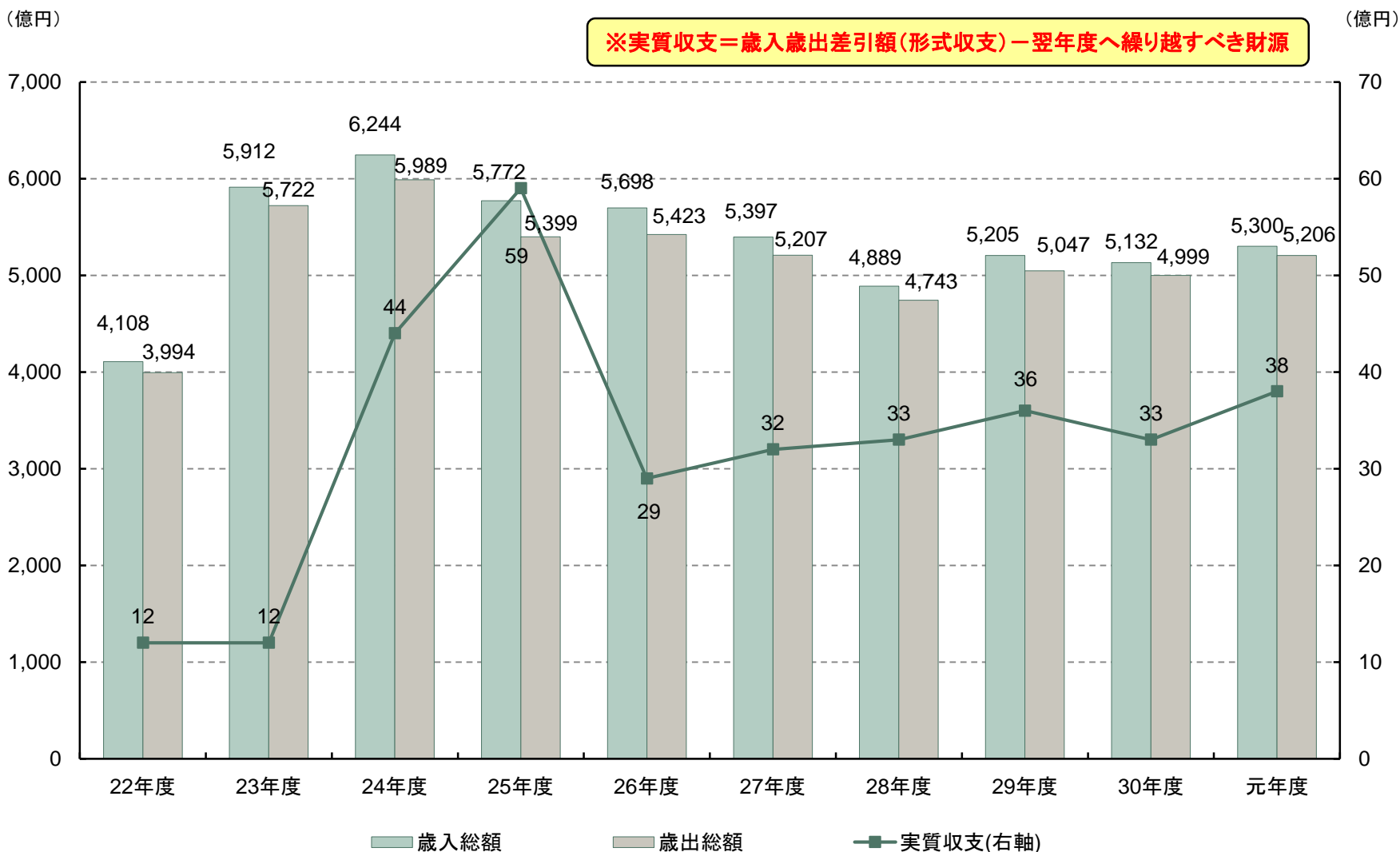
人件費、扶助費及び公債費を合計した義務的経費は、**対前年度比+3.6%(約99億円増)**となりました。

人件費は**対前年度比+2.0%(約22億円増)**、扶助費は**対前年度比+6.0%(約67億円増)**となっています。

②投資的経費(同10.2%)

道路新設・改良事業費の減などにより、**対前年度比△7.7%(約45億円減)**となりました。

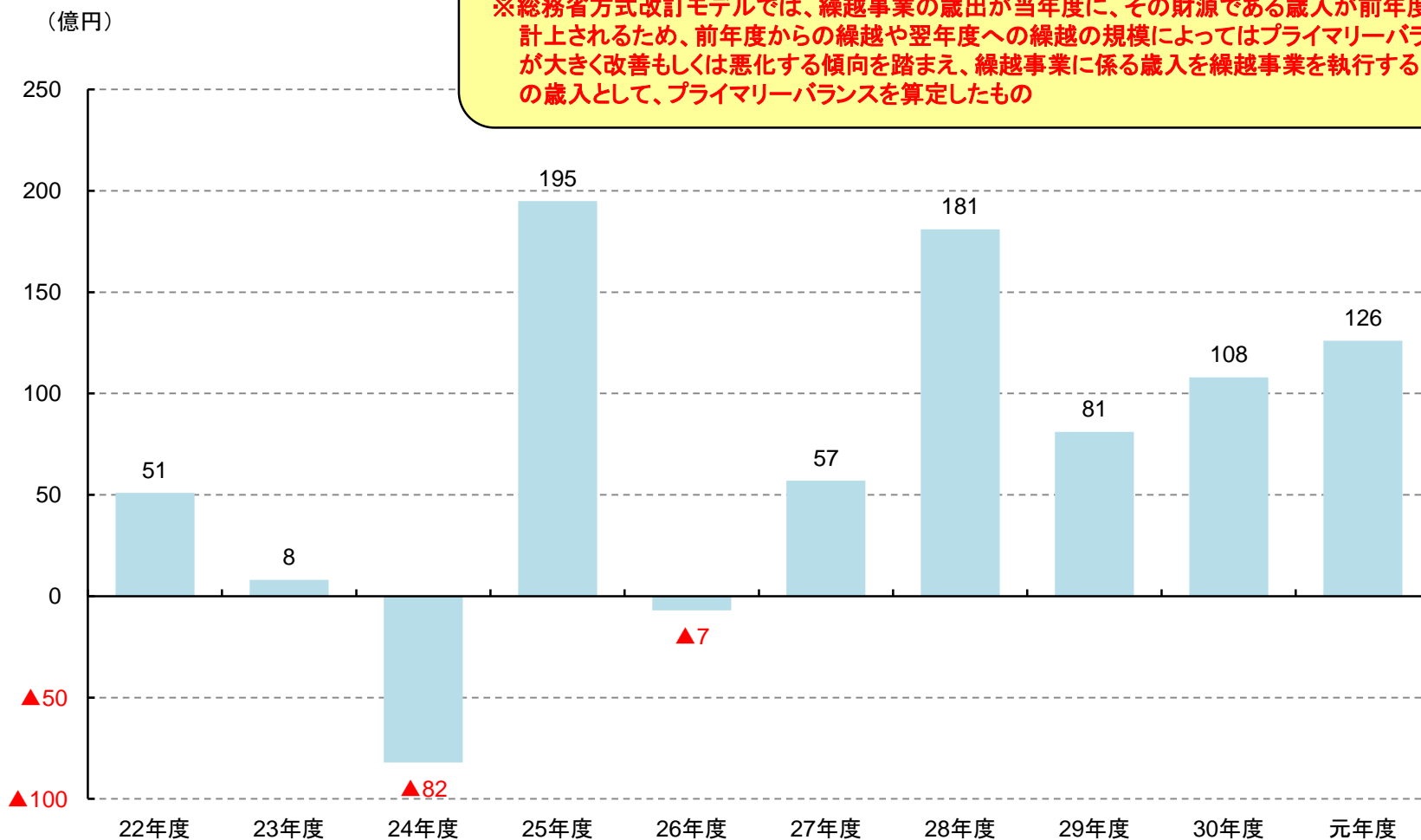
実質収支の状況 (普通会計決算)



プライマリーバランスの状況 (普通会計決算)

プライマリーバランス ※仙台市モデル

公債の利払い費と償還額を除いた歳出と、公債発行収入を除いた歳入のバランスをみる指標
※総務省方式改訂モデルでは、繰越事業の歳出が当年度に、その財源である歳入が前年度に計上されるため、前年度からの繰越や翌年度への繰越の規模によってはプライマリーバランスが大きく改善もしくは悪化する傾向を踏まえ、繰越事業に係る歳入を繰越事業を執行する年度の歳入として、プライマリーバランスを算定したもの



令和元年度特別会計決算の概要

仙台市では10の特別会計を設けています。いずれも実質収支は均衡又は黒字となっています。

(単位:百万円)

会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C(A-B)	翌年度 繰越財源 D	実質収支 C-D	会計の概要
都市改造	7,018	4,972	2,046	2,046		市施行土地区画整理事業等の実施
国民健康保険	90,063	89,769	294		294	国民健康保険事業の運営
中央卸売市場	2,808	2,808				中央卸売市場の整備・管理運営
公共用地先行取得	1,179	1,179				公共用地の先行取得
駐車場	227	227				市営駐車場の管理運営
公債管理	126,620	126,620				公債償還の管理
母子父子寡婦福祉資金貸付	149	58	91		91	母子世帯等への福祉資金の貸付
新墓園	1,060	972	88	2	86	いずみ墓園の整備・管理運営
介護保険	77,348	75,498	1,850		1,850	介護保険事業の運営
後期高齢者医療	11,792	11,724	68		68	後期高齢者医療事業の運営
特別会計合計	318,264	313,827	4,437	2,048	2,389	

令和元年度企業会計決算の概要



経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

仙台市では6の企業会計を設けています。公益性と事業性のバランス確保のため、不断の経営努力を重ねています。

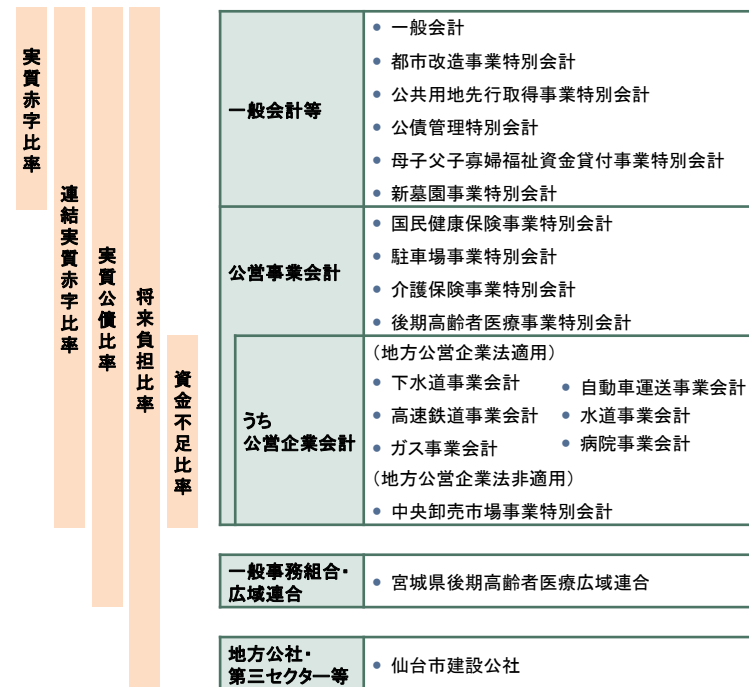
(単位:百万円)

区分		下水道事業	自動車運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合計
収益的収支	収入 A	36,691	10,027	24,011	29,995	38,308	17,273	156,305
	支出 B	33,150	10,466	28,346	26,440	34,268	18,599	151,269
	差引 C=A-B	3,541	△ 439	△ 4,335	3,555	4,040	△ 1,326	5,036
当年度純損益(税抜)		2,826	△ 515	△ 4,537	2,797	2,827	△ 1,329	2,069
未処理剰余金(△欠損)		4,820	△ 5,660	△ 86,718	6,740	△ 3,891	△ 9,955	△ 94,664
資本的収支	収入 D	20,784	1,195	2,504	5,066	1,069	1,028	31,646
	前・翌年度支出の財源充当額 E							
	支出 F	34,471	1,661	9,590	16,216	7,432	1,614	70,984
	差引 G=D-E-F	△ 13,687	△ 466	△ 7,086	△ 11,150	△ 6,363	△ 586	△ 39,338
補てん財源 H		21,321	174	6,881	22,526	8,718	1,670	61,290
資本費負担緩和債 I								
災害復旧事業債 (営業費用充当分) J								
他会計長期借入金 K								
当年度末資金剰余額 L=G+H+I+J+K		7,634	△ 292	△ 205	11,376	2,355	1,084	21,952
(参考)一般会計からの繰出金		8,743	3,009	1,272	722	96	2,844	16,686

健全化判断比率・資金不足比率

いずれも早期健全化基準等を十分下回っており、概ね適正な水準にあると言えます。

<健全化判断比率等の対象>



(健全化判断比率)

指標	仙台市	政令指定都市平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字団体なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字団体なし	16.25%	30%
実質公債費比率	6.1%	7.3%	25%	35%
将来負担比率	78.8%	93.2%	400%	
公営企業における資金不足比率	自動車運送事業 4.3% (その他はなし)	2都市2事業で 資金不足発生	経営健全化基準 20%	

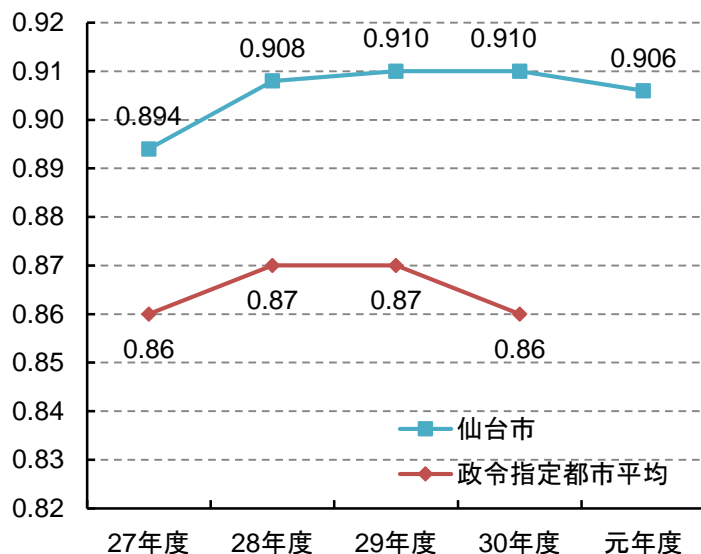
※令和元年度決算(速報値)

※早期健全化基準及び財政再生基準は仙台市(政令指定都市)への適用基準

財政力指数・経常収支比率等

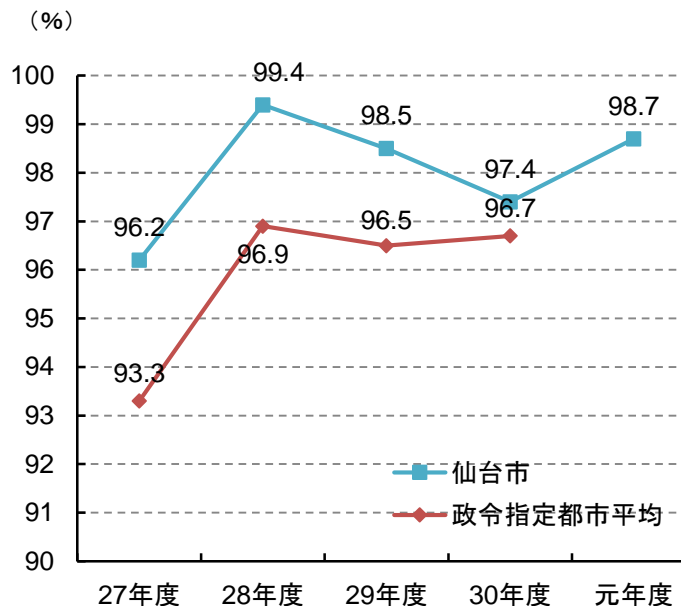
財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数の1つで、この指数が高いほど財源に余裕があるといえます。



経常収支比率

財政構造の弾力性を示す比率で、この比率が高いほど、政策的な経費に回す余裕がないことを表します。



債務負担行為額

令和元年度末における債務負担行為額(普通会計)は約1,120億円で、前年度末に比べ約56億円減少しています。

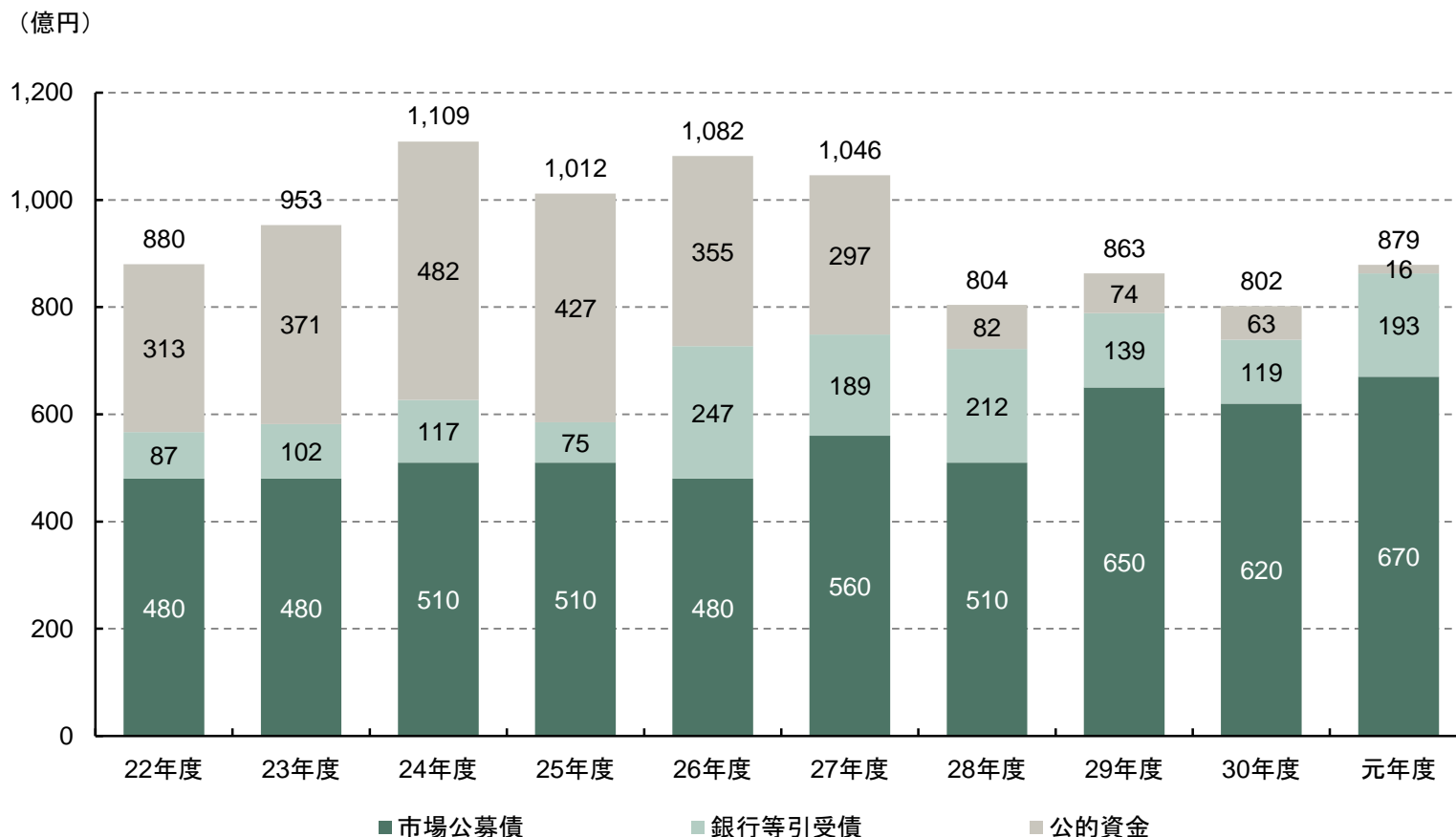
主な設定項目として、学校建設事業やスポーツ施設運営管理があります。

新地方公会計制度に基づく財務諸表

仙台市では、新地方公会計制度に基づく貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表を作成し、仙台市HPIに随時掲載しています。

市債発行の状況 (一般会計+特別会計)

令和元年度における市債発行額は、借換債発行額の増加等により、対前年度比+9.6%(約77億円増)となりました。資金調達先は、市場公募債(76.2%)、銀行等引受債(21.9%)、公的資金(1.9%)となっています。

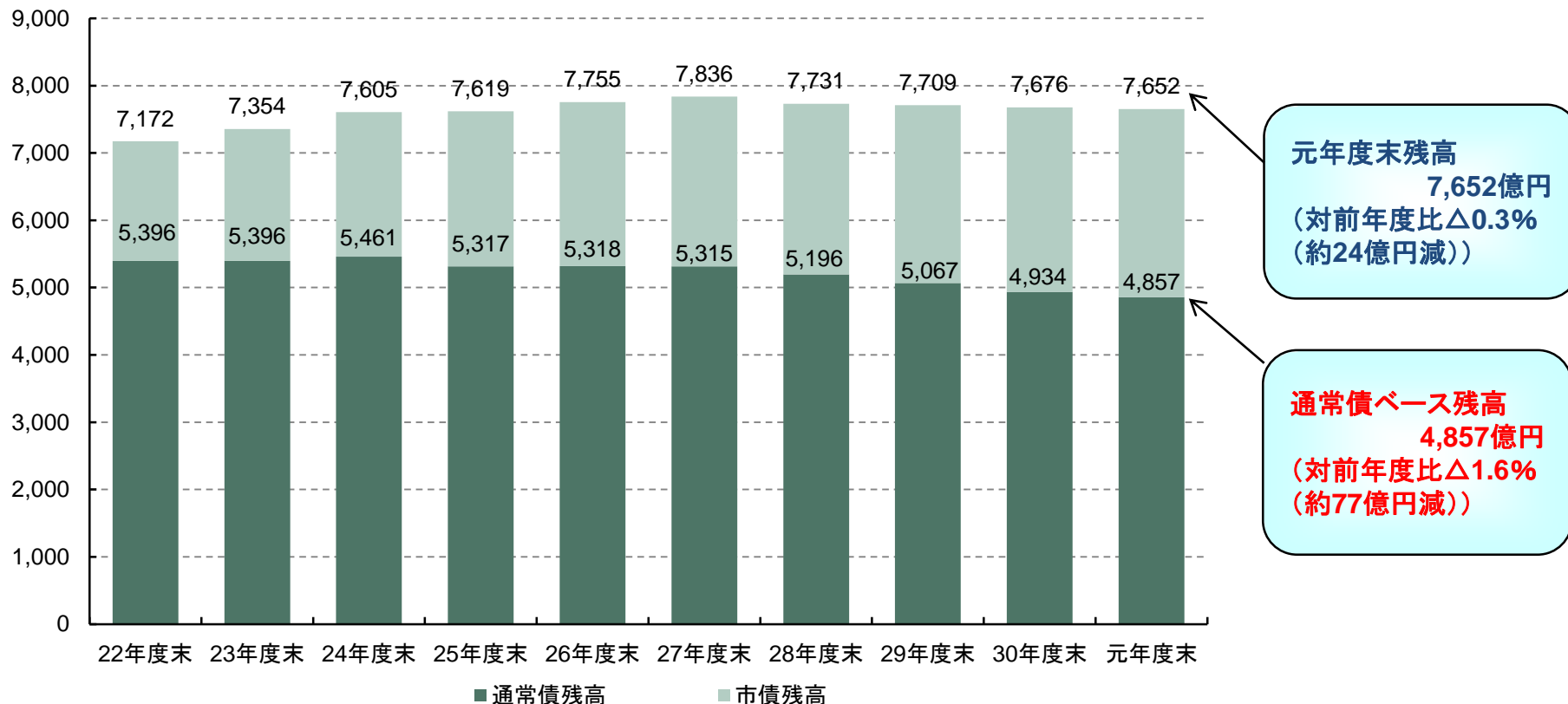


普通会計市債残高の推移

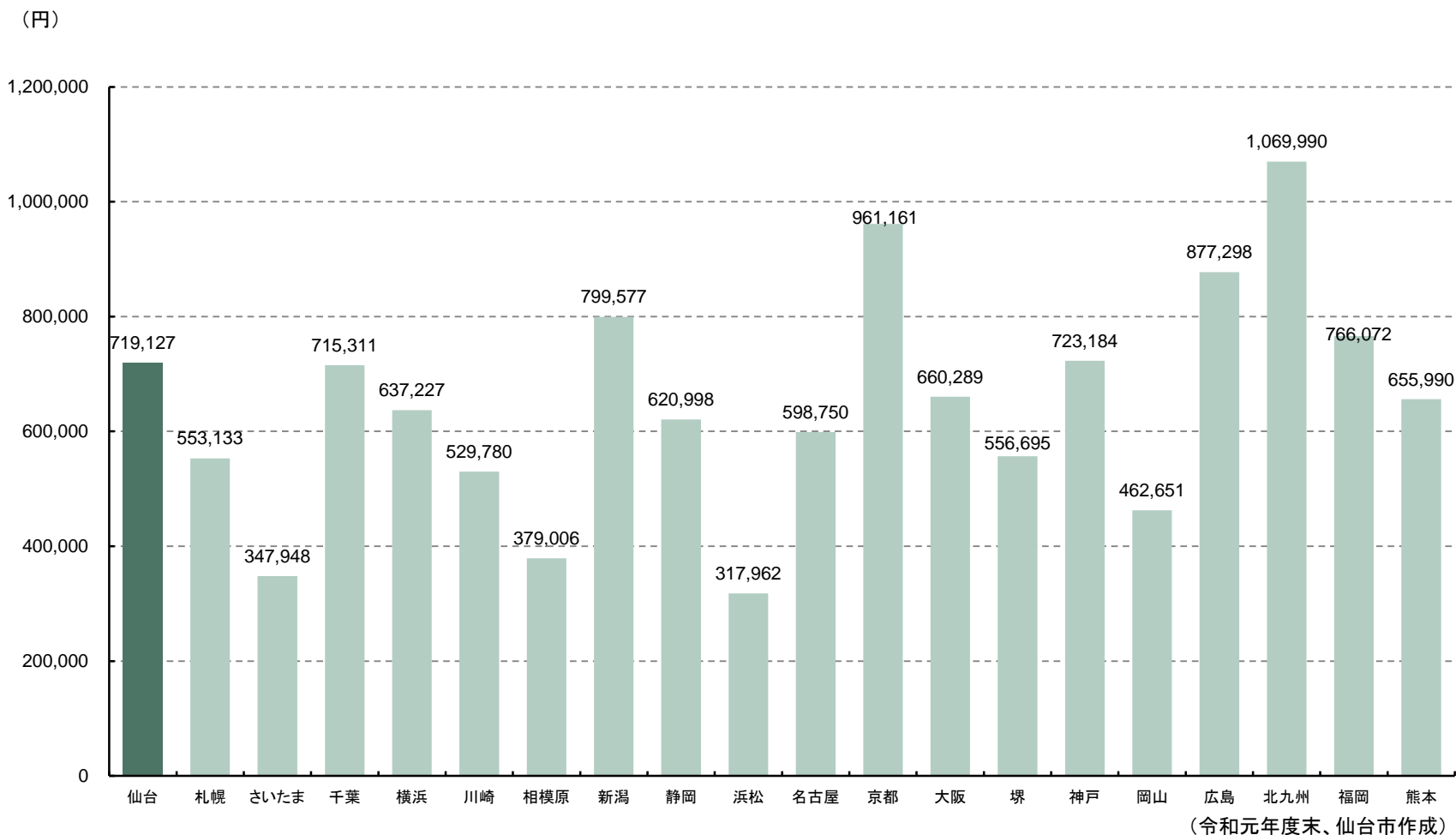
本市では、必要な公共投資のための市債を発行しつつ、厳選・重点化を行っており、市債(通常債※)残高は減少基調にあります。

※通常債…地方交付税の不足分を補うために発行する臨時財政対策債等を除いた市債のことです。

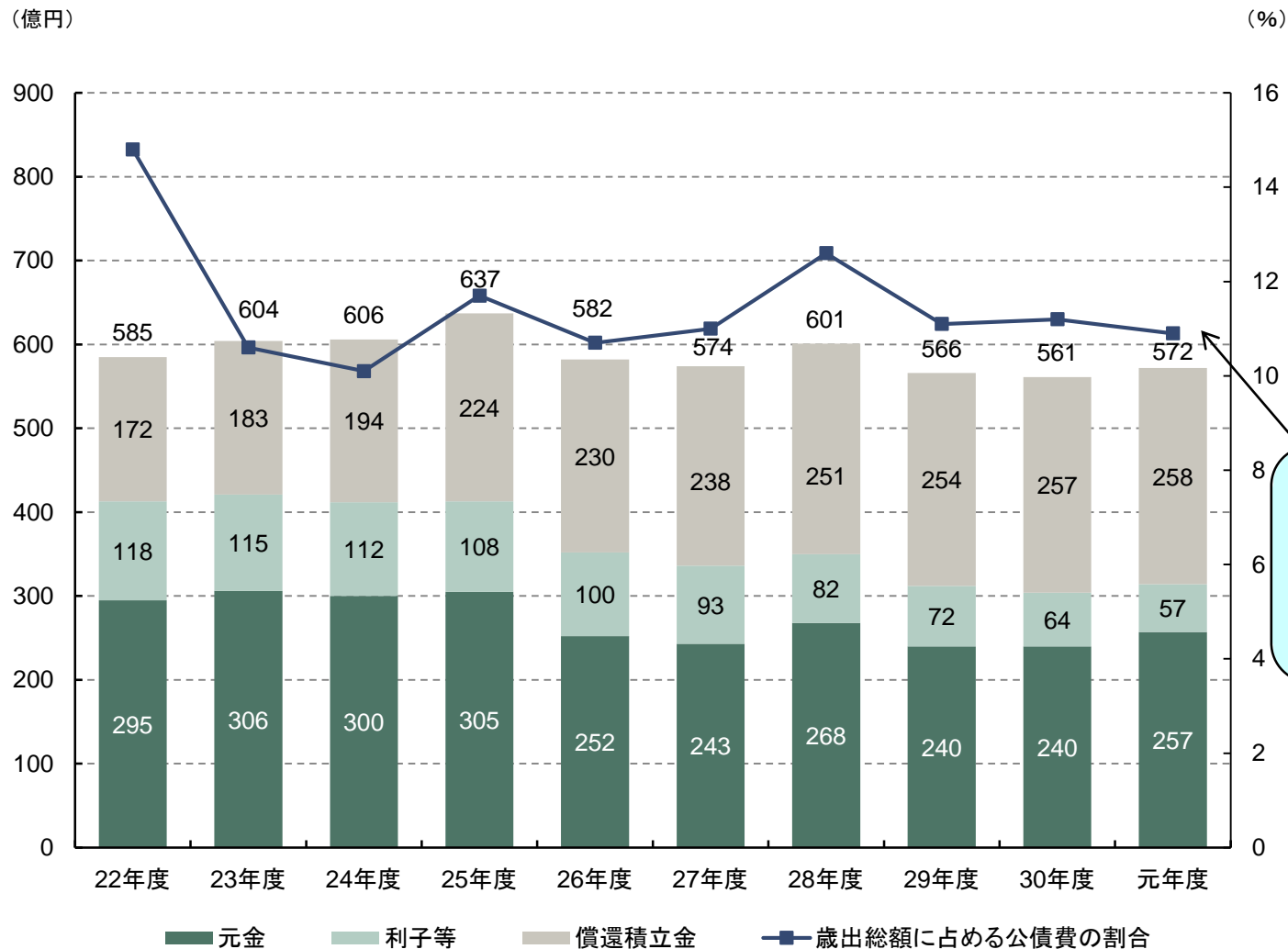
(億円)



市民一人当たり市債残高 (普通会計)



一般会計公債費の推移



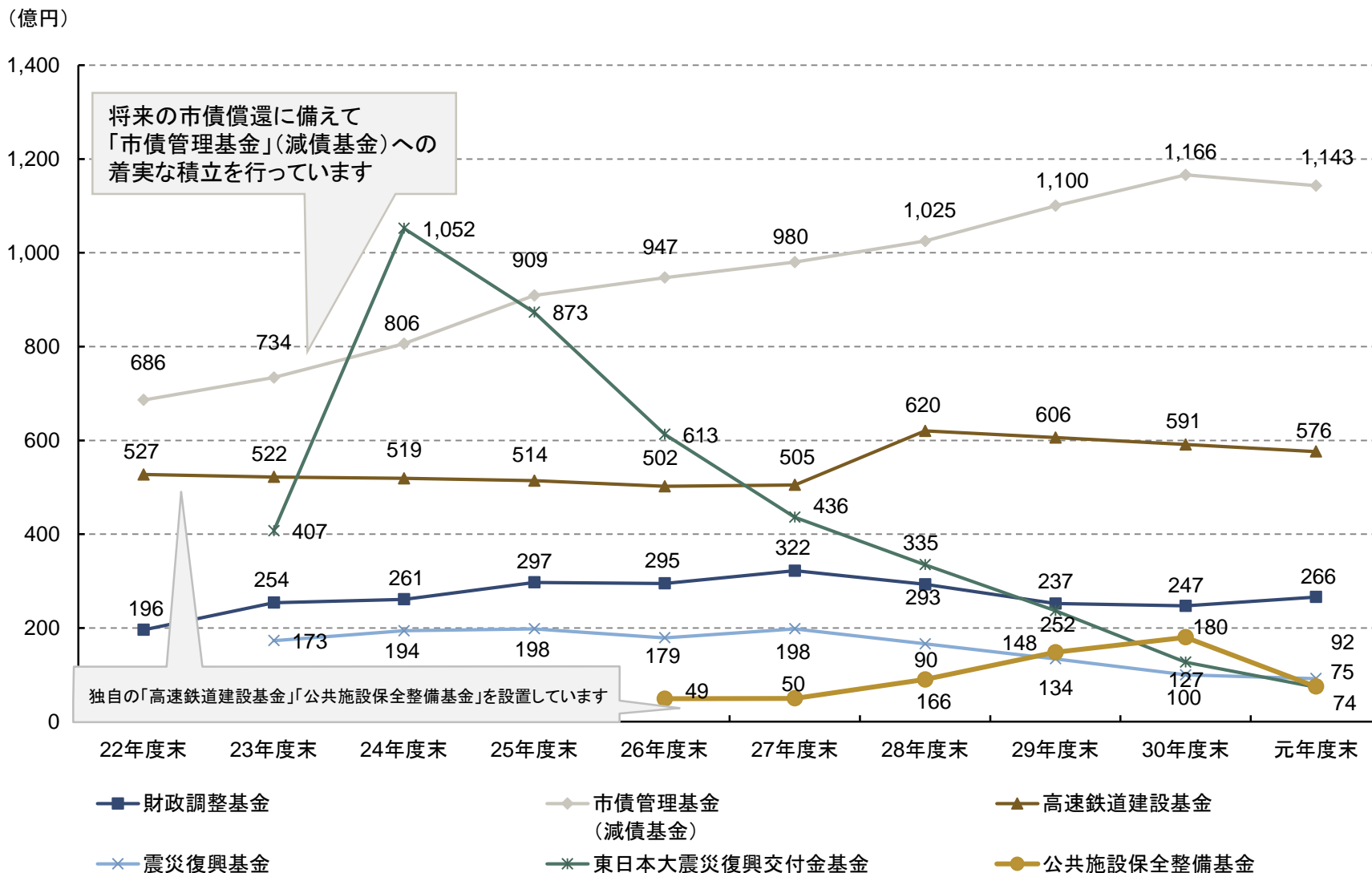
・歳出総額(目的別)に占める公債費の割合は10.9%
 ・元金支払の増等により対前年度比+1.9%(約11億円増)

各種基金の状況

【令和元年度末残高 (単位:億円)】

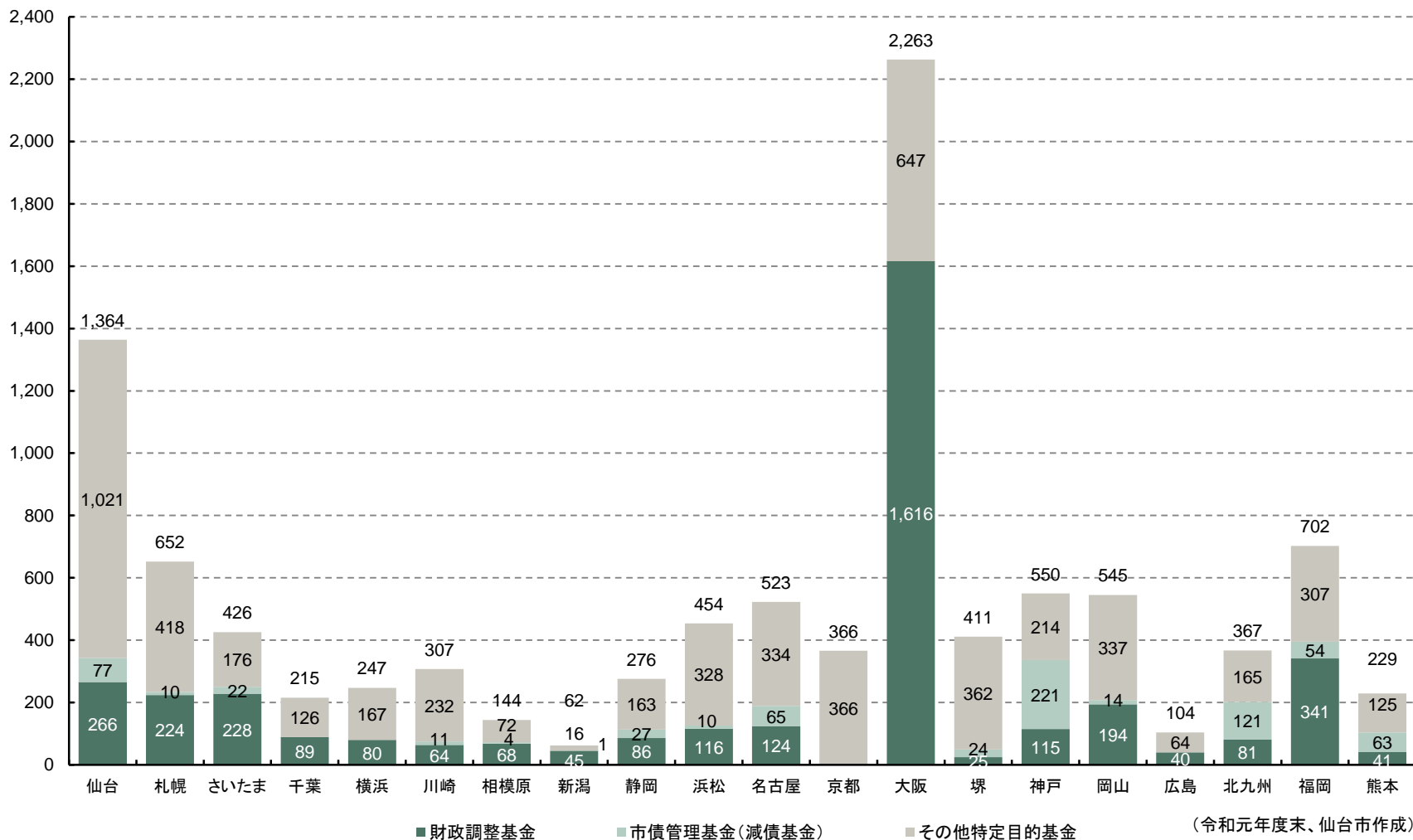
基金名	残高	基金の概要
財政調整基金	266	財源の過不足等を調整するための基金
市債管理基金	1,143	市債の償還の財源を計画的に確保するための基金
高速鉄道建設基金	576	高速鉄道の建設、運営及び関連事業に必要な資金を積み立てるための基金 (法人市民税収入(超過課税分)の2分の1に相当する額を毎年度積立)
百年の杜づくり推進基金	9	市街地や周辺地域での緑の保全及び創出に関する施策の推進のための基金
環境保全基金	4	地域に根ざした環境保全活動を展開するための基金
福祉基金	12	福祉事業の推進を図るための基金
文化振興基金	13	文化施設の整備及び文化活動の推進のための基金
仙台城史跡整備基金	6	仙台城の史跡の保存及び活用を推進するための基金
公共施設保全整備基金	75	公共施設の長寿命化に関する事業の推進及び計画的な更新を図るための基金 (事業所税収入の2分の1に相当する額を毎年度積立)
土地開発基金	185	公共用地などをあらかじめ取得するための基金
国民健康保険事業財政調整基金	19	国民健康保険事業の財政調整のための基金
介護保険事業財政調整基金	55	介護保険事業の財政調整のための基金
震災復興基金	92	東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るための市の独自基金
東日本大震災復興交付金基金	74	復興特区法に規定する復興交付金事業等に必要な資金を積み立てるための基金
中小企業活性化基金	29	中小企業の活性化に関する事業の総合的な推進を図るための基金
災害救助基金	7	災害救助法の規定により設置する基金
市庁舎整備基金	123	市庁舎の整備を図るための基金
奨学金返還支援基金	1	本市産業を担う人材の確保・人材定着促進を目的として行う 奨学金の返還を支援するための基金
合計	2,689	-

主な基金残高の推移



基金残高の他都市比較 (普通会計)

(億円)



(令和元年度末、仙台市作成)

仙台市役所経営プラン

仙台市では、平成7年以来、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的で効果的な行財政運営に向けさまざまな取組みを進めてきました。

平成31年4月には、本格的な人口減少・少子高齢化社会が到来する中で、「ポスト復興ステージ」における市役所の経営方針を明確にするため、「仙台市行財政改革推進プラン2016」を「**仙台市役所経営プラン**」に改定し、新規項目の追加、既存項目の拡充・目標値の再設定等を行いました。

この計画においては、3つの実施方針の下、98の実施項目の着実な推進を図ることとしており、改定前のプランの取組みも含めた計画期間内（～令和4年度当初）の効果として、概ね約280億円の効果額を見込んでいます。

3つの実施方針と主な取組み

1 「ポスト復興ステージ」を支える行財政運営

- 持続可能な都市経営のための行財政運営の効率化（財政健全化、中長期的視点を重視した取組み、財源創出に向けた取組み、民間活力の導入等）
- ICTの積極的な利活用による行政運営

2 地域課題解決のための現場主義に立脚した市民協働の推進

- 市民とのつながりを強固にする仕組みづくり（多様な主体による活動への支援・コーディネート等）
- 市民協働推進のための市役所の機能強化（ともにまちづくりを進める職員の育成、市民の視点に立った体制づくり）

3 人材の力をフルに活用し挑戦する組織への変革

- 職員の意識・組織風土の改革
（適切かつ着実に業務を進める体制づくり、前例にとらわれない新たな発想を育む仕組みづくり）
- 働き方改革の推進（職員が働きやすい職場環境づくり等）
- 職員の力を伸ばす人材育成

外郭団体の状況

仙台市が1/4以上出資する団体は、令和元年度決算時点で株式会社、財団法人等合わせて24団体となっています。

これらについては、予算・決算状況の公表などの情報の公開に努めているほか、定期的な経営状況の調査や必要な指導、決算に基づく経営状況の評価等を通じ、管理運営の適正化を図っていきます。

外郭団体	出資比率	正味財産増減額又は純損益(千円)	市補助金額(千円)	損失補償に係る債務残高(千円)
(公財)仙台ひと・まち交流財団	100.0%	2,490	87,960	0
(株)たいはつくる	25.0%	5,984	0	0
(公財)せんだい男女共同参画財団	99.8%	522	40,144	0
(社福)緑仙会	99.0%	△ 460	0	0
(公財)仙台市健康福祉事業団	100.0%	△ 12,155	187,406	0
(公財)仙台市医療センター	60.0%	△ 318,616	639,294	0
(公財)仙台市救急医療事業団	100.0%	2,286	0	0
(株)仙台市環境整備公社	50.0%	36,873	0	0
(公財)仙台市産業振興事業団	100.0%	△ 8,654	456,441	0
(一財)みやぎ産業交流センター	25.3%	△ 12,986	0	0
(株)仙台港貿易促進センター	32.5%	14,383	0	0
(公財)仙台観光国際協会	54.7%	209	517,813	0

外郭団体	出資比率	正味財産増減額又は純損益(千円)	市補助金額(千円)	損失補償に係る債務残高(千円)
(公財)瑞鳳殿	65.6%	28,099	0	0
(公財)仙台市スポーツ振興事業団	100.0%	35,056	197,589	0
(公財)仙台市市民文化事業団	89.4%	△ 3,444	722,567	0
(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団	81.7%	26,527	320,490	0
(公財)仙台市建設公社	50.0%	646	15,388	56,805
(公財)仙台市公園緑地協会	50.0%	△ 4,867	15,449	0
(公財)仙台市水道サービス公社	49.5%	△ 6,437	0	0
仙台交通(株)	100.0%	10,364	0	0
仙台ガスサービス(株)	100.0%	16,532	0	0
仙台ガスエンジニアリング(株)	100.0%	52,207	0	0
仙台エルピーガス(株)	48.0%	8,394	0	0
(株)クリーンエナジー	46.7%	4,871	0	0

計	-	△ 122,176	3,200,541	56,805
---	---	-----------	-----------	--------

仙台市公共施設総合マネジメントプラン

仙台市では、平成26年3月に、「仙台市公共施設総合マネジメントプラン」を策定しました。(平成31年3月更新)
公共施設を取巻く環境を踏まえたうえで、施設の老朽化による更新・維持管理コスト増大、人口構造の変化への対応等、さまざまな課題に的確に対応することにより、安心して利用できる公共施設を将来にわたって持続的に提供することを目的としています。

基本方針

①「大切に長く使う」

整備拡張型から現有施設活用型への転換

②「効率的に使う・つくる」

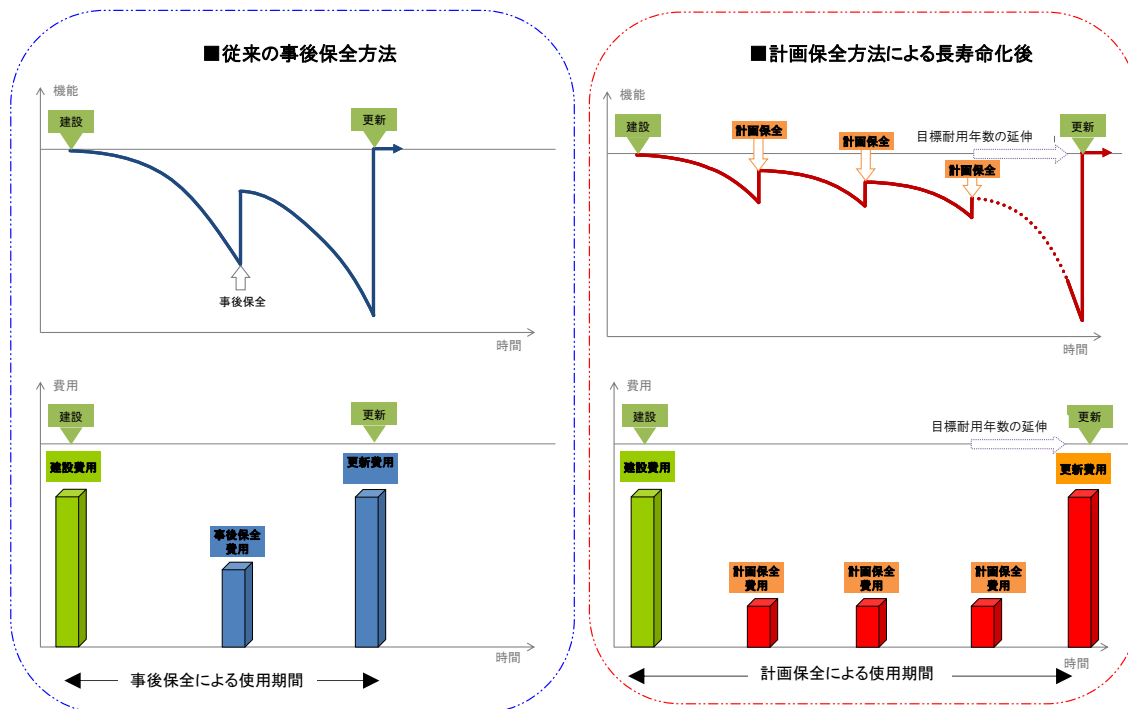
施設機能に着目した管理・整備手法や民間活力の導入

③「総合的に進める」

推進体制の整備

※長寿命化のイメージ

こわれた後で直す【事後保全】⇒大切に長く使う【計画保全】



今後の財政見通し(普通会計ベース)

■歳入の見通し

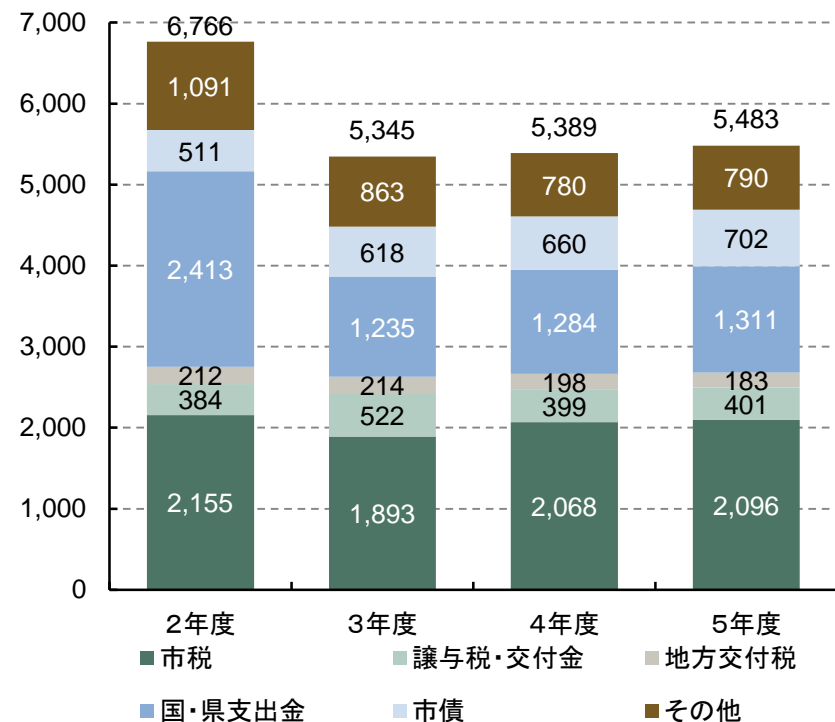
市税収入は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた経済活動の抑制や税制改正により、令和3年度に大きく減少するものの、令和4年度以降は、一定回復する見通し

■歳出の見通し

社会保障関係経費や公共施設の長寿命化対策に要する経費等の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に一定程度の経費が必要となる見通し

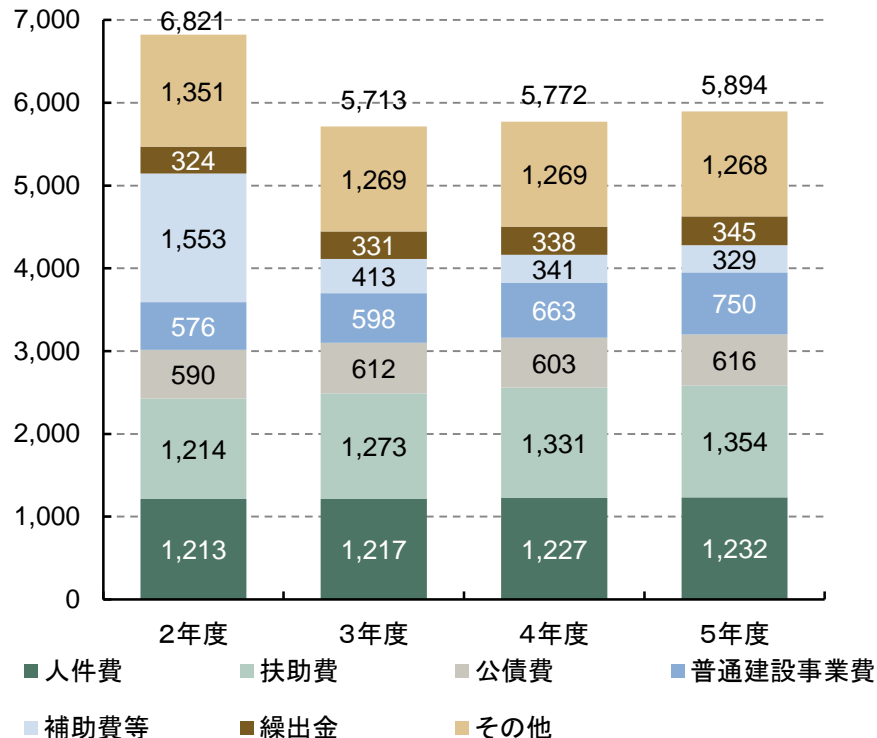
歳入の見通し

(億円)



歳出の見通し

(億円)



令和2年度市場公募地方債発行計画

(単位:億円)

銘柄	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
共同発行 (10年)	30	30	30	30				30	30		30	30	240
個別発行 (5年)										150			150
個別発行 (20年・定時償還)					100		100						200
合計	30	30	30	30	100		100	30	30	150	30	30	590

仙台市債 個別発行実績

平成30年度					令和元年度					令和2年度(発行予定含む)				
年限	発行額	表面利率	発行価格	条件決定日	年限	発行額	表面利率	発行価格	条件決定日	年限	発行額	表面利率	発行価格	条件決定日
				発行日					発行日					発行日
5年	150億円	0.020%	100.00円	H31.1.11	5年	150億円	0.001%	100.00円	R2.1.10	5年	150億円	未定	未定	未定
				H31.1.29					R2.1.27					未定
20年	100億円	0.729%	100.00円	H30.10.5	20年 (定時償還)	100億円	0.170%	100.00円	R1.8.9	20年 (定時償還)	100億円	0.227%	100.00円	R2.8.7
				H30.10.18					R1.8.21					R2.8.19
20年 (定時償還)	100億円	0.426%	100.00円	H30.8.10	20年 (定時償還)	150億円	0.150%	100.00円	R1.10.4	20年 (定時償還)	100億円	0.327%	100.00円	R2.10.2
				H30.8.20					R1.10.16					R2.10.13

【本資料に関するお問い合わせ先】

仙台市財政局財政部財政課資金係

〒980-8671

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022-214-8112

FAX 022-262-6709

E-mail zai003010@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/index.html> (トップページ)

<http://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html> (仙台市の財政)